



ブルクハウゼンと、世界でいちばん長い城壁



ザルツァッハ川の真珠

まるで絵本のように、色あざやかな家々が身を寄せ合う旧市街。その歴史的な街並みの上に、世界でいちばん長い城壁がそびえ立ちます。ブルクハウゼンは、時をさかのぼって五感をくすぐるひととき長い旅にあなたをお連れします。ミュンヘンからわずか100キロ、ザルツブルクからは北へちょうど50キロ。オーストリアとの国境に位置するこの街は、過去の歴史であなたを魅了するばかりではありません。豊かな文化と盛りだくさんのレクリエーションが、ザルツァッハ川の旅を忘れがたいものにしてくれるでしょう。ブルクハウゼンを訪れたなら、6つの館を取り囲む巨大な大理石の城壁を散策するのがいいでしょう。史実に詳しいガイドが、歴史の背後に隠されたさまざまな物語を語ってくれます。また、かつては塩の運搬に使われていた平底船に乗って、川下りを楽しむこともできます。インターナショナル・ジャズ・ウィークのスウィングに乗ったり、学問の街の学生気分を体感したり、バイエルン風の心地よいおもてなしを味わったりするのもいいでしょう。

世界でいちばん長い城壁

世界でいちばん長い城壁は、ブルクハウゼン旧市街の上に70メートルの高さでそびえ立ちます。1051メートルも続く中世の城壁が、塔や凸壁を延々と連ねて、ひととき長く道を縁取ります。千年の歴史の証人たちの間を歩いて行くと、まるで自分を中世の騎士のように感じるかもしれません。あるいは、お城の姫君になったような気持ちで、公爵家の館を部屋から部屋へ通り抜けていくかもしれません。しかしいたるところで、魅力的な眺めが、あなたを現代に呼び戻すでしょう。今も200人が住んでいる建物や塔からは、バイエルンの中でもひととき華やかな広場や、のどかなヴェーア湖や、さらにはアルプスの峰々にいたる夢のようなパノラマをすっきり見渡すことができます。

旧市街／ストリート・オブ・フェイム

ルネサンス、バロック、ロココ — 絵に描いたような旧市街の建物は、見飽きることがありません。しかし、魅力的なのは歴史的な町並みだけではありません。職人街や、掘り出し物がいっぱいのお土産店もぜひお勧めです。また、いかにもバイエルンらしいビヤガーデンやえり抜きのレストランが、身も心も満足させてくれます。すてきな街の広場では、美術や音楽などのさまざまな文化的催しが人々を引き寄せます。旧市街にいちばん人が集まるのは、実は夜なのです。ハリウッドの「ウォーク・オブ・フェイム」にならって、イン・デン・グリューベン通りには、びかびかに磨いたブロンズのプレートがたくさん埋め込まれています。毎年開催されるスーパークラスの音楽祭、インターナショナル・ジャズ・ウィークに参加したジャズの名手たちがサインしています。エラ・フィッツジェラルド、デヴィ・ブルーベック、チェット・ベイカー — これは「ストリート・オブ・フェイム」の細い道に沿ってたどることができるそうそうたる名前の、ほんの一部です。



城ガイド、街ガイド

ブルクハウゼンを訪れるとガイドが、豪華なバイエルン貴族の生活を紹介し、ブルクハウゼンの千年の歴史を垣間見せてくれます。特別なテーマをとりあげたガイドもあります。例えばテーマガイド「魔女、娼婦、聖女」は、人間の運命がしばしばあやうく翻弄された時代へと、あなたを導いてくれます。また、小さな子供向けには、騎士も学校に通ったかどうか体験できるガイドもあります。あるいは、謎めいた場所で、恐ろしくもすてきな怪談に耳を傾けることもできます。公式の城ガイドは、毎週土曜日、日曜日、祝日、夏季のほか、平日にもたびたび行っています。



交通アクセス 車で

A 94 / B 12・ミュンヘン - アルトエッティング - マルクトル/ブルクハウゼン出口 (約 100 km)
A 92 / A 94 / B 12・パッサウ - ブルクハウゼン (約 85 km)
B 20・ザルツブルク/フライラッシーグ - ブルクハウゼン (約 50 km)
B 20・シュトラウビング - ブルクハウゼン (約 100 km)

鉄道で

ミュンヘン - ミュールドルフ - ブルクハウゼン

飛行機で

ミュンヘンの空港/フランク・ヨーゼフ・シュトラウス空港着陸
ザルツブルク(オーストリア)の空港 - W.A.モーツァルト空港



有限会社ブルクハウゼン観光

Stadtplatz 99, 84489 Burghausen
T. +49 - 86 77 - 887 - 140, F. +49 - 86 77 - 887 - 144, touristinfo@burghausen.de
www.visit-burghausen.com, www.facebook.com/burghausen.tourismus

営業時間:

月曜日～金曜日 土曜日 10:00 - 14:00
5月～9月 9:00 - 18:00 11月～3月
10月～4月 9:00 - 17:00 土曜日休業



ザルツァッハ川の川下り

その昔、平底船は「白い黄金」と呼ばれた塩を街へ運んでいました。今日では、乗客を乗せてザルツァッハ川を下ります。魅力的な川旅は、ディットモーニングで始まり、のどかなザルツァッハ溪谷を経て、バロック建築群や手つかずの自然の中を通っていきます。ライテンハスラッハ修道院とマリーエンベルク巡礼教会を過ぎて、ブルクハウゼンに着く頃には、またしても比類なき光景が浮かび上がります。世界でいちばん長い城壁が、互いに寄り添う色とりどりの旧市街の家々を守るようにそびえ立つのです。平底船では音楽を奏でる特別な催しも用意してあります。ジャズや、バイエルン風のダンスミュージック、それに女性ハーブ奏者の演奏を船上で行っています。また、平底船では物語の語り手が乗客を中世へと誘い、ザルツァッハの船人のつらい生活をご紹介します。

素晴らしい眺め - 世界でいちばん長い城壁が、旧市街とザルツァッハ川を守るようにそびえ立ちます。



ライテンハスラッハ修道院

街の門の5キロ手前に、荒々しくもロマンチックなザルツァッハ川が描く輪に囲まれて、シトー会修道院の遺産があります。本来はロマネスク様式の角柱バシリカですが、内部はバロック様式で、すばらしい祭壇やフレスコ画があります。ヴィッテルスバッハ家の墓標が、バイエルンの王家をしのばせます。直線的な美を現した修道院と、和らぎをもった庭園は、力とエネルギーにあふれています。昨日と今日と明日の結びつきを象徴するのが、ミュンヘン工科大学のアカデミー・センターです。これは修道院長のフロアの各部屋を慎重に修復して作られており、出会いと研究と学問の場を創出しています。またこの修道院跡は、さまざまな文化的催しにも用いられ、すばらしい雰囲気をかもしだしています。

自転車に乗って、彼方へ、此方へ

自転車に乗れば、楽しみには果てがありません。バイエルンとオーストリアを隔てているのはたった一本の橋。ペダルを踏めば、あっという間に国境を越えることができます。手つかずの自然の中を、ひときわ長く通っていくと、バイエルン・オーストリアらしいの心地よさを満喫できる旅館やレストランがあり、休憩にはうってつけです。うっとりとするような湖のほとり、森におおわれた山々のふもとを、サイクリング・ロードは川に沿ってゆったりと続きます。

博物館と展覧会

世界でいちばん長い城壁の中では、過去と現在と未来がひしめきあい、崇高な騎士たちも、死の安らぎから目覚めてしまいそうです。公爵家の部屋々々を展示室とする城博物館は、かつての貴族の生活を見せています。2016年に開館したばかりの市博物館は、五感に語りかけるインタラクティブな構成で、始まりの石器時代から、塩取引で栄えた中世を経て、20世紀の化学産業の勃興まで、ブルクハウゼンの歴史を生きた生きたプレゼンテーションしています。城の入口には写真館があり、時の流れを写し出しています。さまざまな展覧会を開いて、第一級の写真家たちの作品を展示しています。



ヴェーア湖

城山の麓には、深い緑色をした静かなエメラルドの湖があります。世界でいちばん長い城壁が湖面に映って日の光を浴び、岸の土手では山羊が鳴き、葡萄園では葡萄の房を真珠のような露のしずくが飾ります。ブルクハウゼンは、旧市街の真ん中に、楽園を抱いているのです。ヴェーア湖では、自然も、水泳も、余暇も、娯楽も、スケート場も、レクリエーションも、飲食も楽しめます。散歩する人もジョギングする人も、このザルツァッハ川のほとりの緑の中で、ゆったりと深呼吸できます。また、水泳もできます。これは冬でも可能です。



団体旅行や個人旅行のパッケージ

ブルクハウゼンでは、訪れる人のためにさまざまなパッケージを取り揃えています。この街で一日だけを過ごすのか、それとも、ひときわ長くいろいろな名所やイベントを味わいたいのかに関わりなく、個人向け、家族向け、あるいは団体向けに、ブルクハウゼン観光社がオーダーメイドのプログラムを作成します。従業員の慰安旅行や社員旅行にも最適です。ヴァイスヴルスト(白ソーセージ)の朝ごはんから、平底船の川下りと城ガイドを経て、夜にはろうそくの光で味わう騎士の食事にと、たくさんのモジュールを組み合わせ、一日プログラムや、盛りだくさんの一週間パッケージを作ります。

www.visit-burghausen.com/pauschalangebote



イベントハイライト

- 国際ジャズ・ウィーク - 3月
- マイ・ヴィーズン - 5月
- ライテンハスラッハ修道院市 - 6月
- ブルクハウゼンの時代祭 - 7月第2週末
- ブルクハウゼンの文化の夏 - 7月/8月
- ヴェーア湖周回「灯籠の道」 - 待降節第1土曜日
- 「イン・デン・グリューベン通りの待降節」 - 待降節第1週・第2週週末
- 世界でいちばん長い城壁の中の「ブルクハウゼン城のクリスマス」 - 待降節第3週週末